

# 「せんせい、あのね」

1年生が国語科で学習しているのは、「せんせい あのね」という「書くこと」です。自分が先生にお話したいことを書いて伝えます。この日は、教科書のお手本の文をノートに書き写していました。書き終えた子は、無言で手を置きます。それが「できました」の合図で、先生には、ちゃんと伝わります。学び方が身に付いてきています。



日直の子が言います。「これで国語の学習を終わります。次の時間は、算数です。算数の用意をしてください。」



全ての子が、次の学習の用意を終えて休み時間に入ります。全学年共通の取組です。